行財政改革市民会議【第2回】
行財政改革プラン（案）に関する意見内容と修正方針について

令和８年１１月１６日（月）
市民会議（第３回）資料３

○委員意見の概要

	件　数
１．行財政改革プランに関する意見	25
２．行財政改革推進プランに関する意見	58
計	83

○委員意見の修正方針について
・市民会議委員より提出のあった意見について、意見を踏まえた修正方針とその理由を記載する。
・理由については、以下に分類し整理する。

① より分かりやすくするため	② 説明内容を補足するため	③ 既に反映されているため	④ 記載が過多となるため
⑤ 実施段階での対応が適切なため	⑥ 他資料等での対応が適切なため	⑦ 計画の記載粒度を超えるため	⑧ 事実・制度等と異なるため
⑨ 記載上の修正が必要なため	⑩取組による効果が見込めないため		

１．行財政改革プランに関する意見（第２回市民会議当日及び勉強会）

（１）全体に関する意見

No.	該当箇所	委員意見の要旨	修正の方向性	理由
1	計画全体・概要版・周知	【当日】 本編は文章量が多いため、概要版や説明会資料は中学生程度でも理解できるよう、数字や絵を活用した分かりやすいものとし、多言語化も含め、多様な市民に届く方法を検討してほしい。	**【修正予定】** ・概要版・説明会資料を極力、平易な表現とする。 ・多言語化は対応時期や方法を含め検討する。	⑥ 他資料等での対応が適切なため
2	計画全体の表現	【当日】 「高浜市だけがお金がないから削減する」という印象ではなく、全国的な環境変化を踏まえて前向きに改革していること、削減だけでなく収入を増やす取組も行うこと、市民サービスが悪くなるだけの改革ではないことが伝わる表現にしてほしい。	**【修正予定】** 全国の自治体を取り巻く社会・経済環境の変化にも触れつつ、歳出の見直しだけでなく、自主財源の確保にも取り組み、市民生活を支える基礎的な行政サービスを守る改革であることが伝わるよう表現を見直す。	② 説明内容を補足するため
3	周知方法	【当日】 財政が厳しいから改革するという説明だけでなく、これまでの改革が現在につながっていることや、これから何を実現したいから改革するのか、改革によって市民生活がどう変わるのかをイメージできる、前向きな伝え方が必要。	【周知方法で対応】 概要版や説明会資料等で、これまでの改革の積み重ね、今回の改革で目指す方向、市民生活へのつながりが前向きに伝わる構成とする。	⑥ 他資料等での対応が適切なため

（２）各章に関する意見

※該当箇所のページ番号…（旧）９月18日市民会議資料、（新）11月16日市民会議資料　　※朱書きは計画修正をしないとしたもの

No.	該当箇所	委員意見の要旨	修正の方向性	理由
4	【１章、２章】 これまでの取組～第2章とのつながり （旧）P.3 （新）P.3～4	【勉強会】 これまでの改革が現在にどうつながっているのかが分かりにくいため、重要な取組を目立たせるとともに、取組の効果や、取り組まなかった場合の影響などを示し、第1章から第2章へのつながりを分かりやすくしてほしい。	**【一部修正予定】** ・取組の背景・効果と財政推移を示し、現在とのつながりを分かりやすくする。 ・取り組まなかった場合の影響は、仮定に基づく説明となるため追加しない。	② 説明内容を補足するため ⑦ 計画の記載粒度を超えるため
5	【１章、２章】 コラム等の新設 （旧）無し （新）P.7、17	【当日】 財政の厳しさだけでなく、これまでの改革によって現在の行政サービスが支えられていることや、高浜市が守ってきたものも示すと、市民の安心感につながる。コラム等で紹介する方法も考えられるが、良い面のアピールだけにならないよう、財政課題との両面を意識した見せ方が望ましい。	**【修正予定】** ・改革が現在の行政サービスを支えていることを、取組紹介やコラム等で示す。 ・財政上の課題も併記する。	② 説明内容を補足するため
6	【１章】 基金が枯渇すると （旧）P.2 （新）P.2	【勉強会】 財政調整基金が枯渇した場合の影響を示すだけでなく、なぜ今改革に取り組むのか、その先に何を守り、未来へつないでいくのかというストーリーが伝わる構成にしてほしい。	**【修正予定】** 基金を確保する意義を前向きに示し、今改革に取り組む必要性と、行政サービスを将来へつなぐ目的が伝わる構成に見直す。	① より分かりやすくするため

No.	該当箇所	委員意見の要旨	修正の方向性	理由
7	【１章】 これまでの取組 （旧）P.3 （新）P.3～4	【勉強会】 現在になって急に財政状況が悪化したように見せるのではなく、過去にも厳しい財政状況の中で改革に取り組んできた経緯や当時の状況を示し、これまでの改革の積み重ねが理解できるようにしてほしい。	**【一部修正予定】** ・当時の課題・背景を補足し、財政推移と改革の経緯を図で示す。 ・個々の財政変動要因の詳細分析までは行わない。	② 説明内容を補足するため ⑦ 計画の記載粒度を超えるため
8	【１章】 「これまで／これから」の図 （旧）P.4 （新）P.5	【勉強会】 「不足分は貯金で補う」という結果だけではなく、なぜ不足が生じるようになったのか、その要因も図から分かるようにしてほしい。	**【修正予定】** 物価・人件費・金利等の上昇による支出増加と、不足分を基金で補う状況を、本文や図表等で分かりやすく示す。	② 説明内容を補足するため
9	【２章】 財政調整基金グラフ （旧）P.6 （新）P.8	【当日】 取崩額と残った基金額の関係がグラフから分かりにくく、「期首残高」も市民にはなじみがないため、図と用語を直感的に理解できるものにしてほしい。	**【修正予定】** 基金の「取崩額」と「予算編成後の残高」の関係が直感的に分かるグラフに変更し、「期首残高」等の用語も平易な表現に見直す。	① より分かりやすくするため
10	【２章】 普通交付税・財政力指数 （旧）P.8 （新）P.10	【勉強会】 不交付団体という言葉から財政に余裕があるように受け取られやすく、財政力指数が1を下回ることや交付団体となったことが、財政状況としてどのような意味を持つのかも分かりにくいため、近年の財政状況の変化や厳しさがより明確に伝わる説明にしてほしい。	**【一部修正予定】** ・財政力指数や普通交付税の交付・不交付が何を示す指標なのかを補足し、「不交付団体＝財政に余裕がある」という誤解を招かない説明に見直す。 ・平成24～28年度の個別要因の詳細分析は追加しない。	① より分かりやすくするため ⑦ 計画の記載粒度を超えるため
11	【２章】 公共施設の現状の表 （旧）P.10 （新）P.12	【勉強会】 数値の増減だけでなく、6年間でどの程度増減したのかを割合でも示すと、変化の大きさが理解しやすい。	**【修正予定】** P.10の「6年間の増減」欄に増減率を追加する。	① より分かりやすくするため
12	【２章】 比較自治体 （旧）P.13 （新）P.15	【勉強会】 比較対象として掲載されている自治体について、なぜその自治体を選んだのか、また、どのような基準で並べているのかが分かるようにしてほしい。	**【修正予定】** ・比較自治体について、選定基準を注記する。 ・並び順は見やすいように修正する。	② 説明内容を補足するため
13	【２章】 第2章まとめ～第3章 （旧）P.14 （新）P.16	【勉強会】 「財政」「行政運営」「事務事業」などの行政用語が市民には分かりにくい。また、4つの柱は第3章以降と色や番号を統一した方が、計画全体のつながりを理解しやすい。	**【修正予定】** ・「組織運営」「行政サービス」など、分かりやすい表現に見直す。 ・４つの基本方針は第３章以降と色・番号を統一する。	① より分かりやすくするため
14	【３章】 総合計画・将来都市像との関係 （旧）P.16 （新）P.18	【当日】 行財政改革が総合計画につながると言われても、市民には総合計画そのものを知らない人も多いため、総合計画とは何かを説明するとともに、高浜市が掲げる将来都市像を示し、行財政改革の先に何を目指しているのか分かるようにしてほしい。	**【修正予定】** 「総合計画」に用語説明を加えるとともに、第7次高浜市総合計画の将来都市像を示す。	② 説明内容を補足するため
15	【３章 or ４章】 事務事業見直しの前提 （旧）P.20 （新）P.22	【当日】 法令等の制約により、市の判断だけでは廃止・変更できない事業や、義務的経費など削減が難しい経費があることは市民には分かりにくいため、改革にも一定の制約があることを見える化すると理解しやすい。	**【一部修正予定】** ・すべての事業・経費を同じように見直せるわけではなく、法令上実施が必要な事業や義務的経費等があることを簡潔に説明する。 ・個々の事業を分類して掲載することまでは行わない。	② 説明内容を補足するため ④ 記載が過多となるため
16	【４章】 行財政改革推進プラン （旧）P.20 （新）P.22	【勉強会】 個別の取組を各プロジェクトで検討しているのであれば、どのような基準や考え方で見直しを行ったのかを示した方がよい。	**【修正予定】** ・推進プランの策定過程について、見直し基準を設定しているものは経緯を簡潔に示す。	② 説明内容を補足するため
17	【４章】 推進体制・市民会議 （旧）P.21 （新）P.23	【勉強会】 市民会議の役割が行政からの「報告」という一方向の関係に見えるが、実際には委員から意見を出す双方向の会議であるため、今後どのように市民会議が関わるのかも含め、位置付けを分かりやすくしてほしい。	**【修正予定】** 推進体制図の市民会議について、「報告」だけではなく、進捗等の報告を受けて意見を聴く双方向の関係であることが分かる表現に修正する。	① より分かりやすくするため

No.	該当箇所	委員意見の要旨	修正の方向性	理由
18	【4章】 財源確保・事務事業評価・継続的見直し （旧）P.21 （新）P.23	【当日】 毎年度の事業評価等に「稼ぐ」視点を取り入れ、部署単独では難しい案件について職員が意見を出しやすい仕組みをつくるとともに、役割を終えた事業を適切に終了できる視点も評価・PDCAに組み込んでいくとよい。	【一部修正予定・一部参考】 ・集中取組期間後も事業見直しや業務改善、自主財源確保を続ける旨を補足する。 ・評価項目、横断的な提案の仕組み、事業の終期は追記せず、運用時の参考とする。	② 説明内容を補足するため ⑤ 実施段階での対応が適切なため

（３）組織再編に関する意見

※該当箇所のページ番号…（旧）９月18日市民会議資料、（新）11月16日市民会議資料　　※朱書きは計画修正をしないとしたもの

No.	該当箇所	委員意見の要旨	修正の方向性	理由
19	【４章】 P.22 組織体制 （旧）P.22 （新）P.25	【勉強会】 「グループ」から「課」へ変更するのであれば、なぜ変更するのかが分かるよう、それぞれのメリット・デメリットを示した方がよい。また、「主査級職員」という役職についても、市民には分かりにくいため説明が必要。	**【一部修正予定】** ・グループ制の経緯・課題と、課制への変更目的を補足する。 ・「主査級職員」は使わず、役割・責任と職員育成を説明する。 ・両制度の網羅的な比較は行わない。	② 説明内容を補足するため ④ 記載が過多となるため
20	【４章】 組織体制、財源確保 （旧）P.22～23 （新）P.24～26	【当日】 今回の行財政改革は、既存の事業や現在の高浜市を守り、まず基盤や体制を整える性格が強いように見える。一方、他自治体ではDXや財源確保を担う専門部署を設ける例もあり、高浜市の財源確保策は受益者負担等、市民負担の増加を中心に立て直すようにも見える。ただし、財源確保の専門チームを直ちに設けることよりも、まずは基盤を整え、今回の行財政改革が何を目的としているのかを市民に分かりやすく伝えることが重要である。	【一部修正予定・一部参考】 ・行政サービスを守る改革の目的と、自主財源確保の方針を分かりやすくする。 ・財源確保の専門組織は追記せず、今後の参考とする。	① より分かりやすくするため ⑤ 実施段階での対応が適切なため
21	【４章】 組織体制（市民窓口課・生活環境課等の組織名称・窓口の分かりやすさ） （旧）P.22～23 （新）P.24～26	【当日】 市民から見ると、市民窓口課と生活環境課などの所管区分が分かりにくく、総合窓口やおくやみ窓口も市民窓口課をイメージしやすい。組織上の区分だけでなく、市民がどこへ相談すればよいかが分かる名称・案内にしてほしい。	【実施段階で対応】 組織名称は維持し、所掌が伝わりにくい部分は、組織再編時の窓口表示・案内等で補完する。	⑤ 実施段階での対応が適切なため
22	【４章】 組織体制（庁舎窓口・案内） （旧）P.22～23 （新）P.24～26	【当日】 課名を分かりやすくするだけでなく、市役所を訪れた市民が、まずどこへ行けばよいか、また目的の窓口までどのように行けばよいかが分かる案内方法や動線表示があるとよい。	【参考】 本編・組織図は修正せず、組織再編後の庁舎サイン、総合案内、窓口までのルート表示等を検討する際の参考とする。	⑤ 実施段階での対応が適切なため
23	【４章】 組織体制（財産経営課の名称・所掌事務） （旧）P.22～23 （新）P.24～26	【当日】 「財産経営課」や「普通財産管理」という名称・用語は市民には分かりにくいため、所掌事務が伝わる名称や説明にした方がよい。	**【一部修正予定】** ・「財産経営課」の名称は維持し、施設・資産の管理を担う役割を補足する。 ・個別の所掌事務は、組織再編時の案内等で補完する。	① より分かりやすくするため ⑤ 実施段階での対応が適切なため
24	【４章】 組織図 （旧）P.23 （新）P.26	【勉強会】 新しい組織図だけでは、現在の部署が担当している仕事が、新体制ではどの部署に移るのか分かりにくいため、旧組織と新組織の対応関係が分かるようにしてほしい。	**【実施段階で対応】** 本文・組織図への注記は追加せず、新旧の業務移管は組織再編時の窓口表示・案内等で分かりやすく示す。	⑤ 実施段階での対応が適切なため
25	【４章】 行財政改革を実現する組織体制の構築 （旧）P.22～23 （新）P.24～26	【追加】 ①組織改編を行うと過去に行った政策変更などの実施事項の責任が不明確になる可能性がある。 政策変更などの実施事項の責任の所在を各部局ごとに明確にして、後日でも結果の確認やフォローができるようにする。 ②「高浜市行財政改革プラン」のＰ２２には、主な見直し内容が記載されているだけで、記載されていない組織変更の説明がない。 説明がある変更でも、「行財政改革推進プランシート」のように「現状と課題」や「改革効果」がないため分かり難い。 【上記①②を盛り込んだ組織改編の資料としてください】	**【一部修正予定】** ・組織改編後も施策・事業の責任の所在が曖昧にならないよう、所管部署の引継ぎや進行管理の考え方を整理する（追加修正は行わない）。 ・主な組織変更について、「なぜ変えるか」が分かるよう説明を補足する。	⑤ 実施段階での対応が適切なため ② 説明内容を補足するため